

子育て支援センター「つくしんぼの会」 (勝山保育園内)

下関市の子育てネットワークの中核として、
“民の子カラ”を支え・結集する活動を展開。



プロフィール

運営主体 社会福祉法人勝山園 子育て支援センター「つくしんぼの会」
所在地 〒751-0874 山口県下関市秋根新町12-12
TEL083-256-8058 FAX083-256-8158
開設 平成6年12月
開所時間 10時～16時(月曜日～土曜日)
スタッフ 常勤2名(保育士)、非常勤1名
利用者数 月間延べ人数約500人



子育て支援センターの役割・機能がまだ広く認知されていない平成6年12月、「つくしんぼの会」は地域子育て支援センターのモデル事業としてスタート。翌年12月、下関市の子育てネットワークの中核となるべく市の委託を受け開設されました。当初、公園など親子の集う場に向き「遊びに来ませんか?」と呼びかける認知活動に追われた“手探りの事業”も、高いニーズと事業への安心感により程なく地域に浸透。今では高い利用率と認知度を得る事業となり、出生数が年々増加傾向にある人口30万人の中核都市「下関」の中心的な支援拠点として、その役割は一層重要度を増しています。

利用者の声

私は“人見知り”するほうですが、ここは雰囲気があたたかく、とても来やすいですね。発達段階で心配なことがあって相談した時も、親身に励ましていただきました。それから季節ごとの行事があるのも嬉しい。なかなか家ではできませんから……こういう場所を求めているお母さんは多いと思いますね。

事業の特徴

「つくしんぼの会」では、“お母さんを元気にすることが子どもの幸せにつながる”という基本的な視点で構成された多彩なプログラムに沿った活動が基本。保育園に併設された支援センターとして、その社会資源的な価値を十分に活かしながら、利用登録者制(定員100組)による充実した“グループ遊び(ワイワイプラザ)”や“年齢別遊び(スマイルひろば)”を実現し、親子の豊かなコミュニケーションを育んでいます。

また、地域ネットワークづくりの一貫として「出張子育て支援(通称・おでかけセンター)」事業を展開。地域における子育てに関する様々な行事や事業の場へ積極的に出かけ、遊びの指導や子育て相談を通じて子育てサークル等の活動をサポートしています。さらにそうした活動は地域内に留まらず、平成9年に下関市の小児科医(勝山保育園の園医)の呼びかけにより結成された“子どもに関わる専門家(医師、

保育士、教員、少年補導員、弁護士、子育てサークル代表など)の勉強会・情報交換の場「こどもなんでもネットワーク・下関」の立ち上げに参加。結成10年を過ぎた現在も、事務局の中心メンバーとして意欲的に活動を展開、文字通り下関の子育てネットワークの中核として“民の子カラ”を結集する役割を果たしています。

さかえ・こどもセンター (さかえ第2・風の谷保育園内)

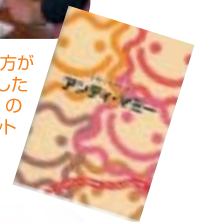
保育園、子どもセンター、地域交流の 3つの機能を持つ「出会いと発見」の場。



プロフィール

運営主体 社会福祉法人泉の園
所在地 〒272-0836 千葉県市川市北国分4-10-3
TEL.047-373-0191 FAX.047-375-5556
開設 平成5年
開所時間 9時～17時(月曜日～土曜日)
スタッフ 常勤1名(保育士)
非常勤4名(事務1名、ママスタッフ3名)
利用者数 月間延べ人数平均約1400人

利用者のお母さん方が
自主制作した
「アンティーマミー」の
案内パンフレット



センター設立以前の平成2年から現在まで、「地域の親子にとって身近な保育園」をコンセプトに園開放運動を広げながら、市および保育園関係者との連携による地域での子育て支援をめざし、「地域子育て支援研究会」の結成をはじめ、県・全国の研究会、セミナーなど様々な活動を展開している。——平成20年4月には、「創造的で包容力のある森」をテーマにした木造園舎「さかえ第2・風の谷保育園」が完成し、現在「さかえ・こどもセンター」もその心地よい環境の中に移転・併設されています。

利用者の声

ここでは子ども同士、親同士のつながりを感じられる「自分の居場所」。他のお母さんたちと「一緒に子育てがんばろうね」と話しながら色々な情報が共有できるし、来るたびにすごくリフレッシュした気分になりますね。

事業の特徴

当センターの事業プログラムの柱は、親子が自由に自分のペースで遊びに来る「オープンスペース」と相談業務(電話及び面接)。センター及び保育園園庭を開放利用するオープンスペースは「出会いと発見の場」として位置づけられ、同じ話題を共有できる同年代の親子が出会えるように年齢別に曜日を分けて運営。「色々な遊具と遊びがある」、「異年齢の子どもと出会う」、「園児との自然な関わりが生まれる」など、保育園の機能を最大限に

生かして「ほっとする居場所づくり」に努めると同時に、地域づくりの一環として、月2回市内公共施設やマンションの集会所を利用しての「出張オープンスペース」も実施しています。また、公民館などで2時間程度子どもを集団で預かる「アンティーマミー(子育てサポーター)」の養成や、親同士が主体的につながり、支えあって活動しているサークル(双子の会など)の支援活動も積極的に行っています。

(その他の主なプログラム)

- 育児メール：月1回、育児に関するテーマおよびセンターのプログラム予定を、ハガキで自宅に郵送しています。
- みんなで遊ぼう：2ヶ所の公園で月1回開催(歌、手遊びなど)。地域の人々に子育て支援事業を知っていただけるメリットもあります。
- この指とまれ：リトミック、ベビーマッサージ、散歩など、テーマを決めて実施。
- プレママ：足浴など、出産前のお母さんを対象にしたプログラム。

児童館型

民営の児童館、児童センターにおいて、学齢期の子どもが来館する前の時間などを利用して、親と子の交流、つどいの場を設けるとともに、子育て中の親などの当事者等をスタッフに交えて、身近で利用しやすい地域交流活動を実施します。

- 実施主体 市町村(特別区を含む。)
ただし、社会福祉法人、NPO法人、民間事業者などへの委託等も可。
- 基本事業 ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
②子育て等に関する相談・援助の実施
③地域の子育て関連情報の提供
④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施
- 従事者 子育て親子の支援に関して意欲があり、子育ての知識と経験を有する者(1名以上)に児童館職員が協力
- 実施場所 児童館
- 開設日数等 週3日以上、1日3時間以上

